

## 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第11回理事会議事録

- 日時：平成24年6月17日（日）13:30～15:00
- 場所：沖縄大学2号館2-306教室
- 出席（役員）：中野義勝、西平守孝、泡瀬干潟を守る連絡会（桑江直哉）、自然保護課（富永千尋、渡嘉敷彰）、環境省那覇自然環境事務所（若松佳紀）、桜井国俊、沖縄リーフチェック研究会（安部真理子）、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、WWF ジャパン（権田雅之）、沖縄県衛生環境研究所（金城孝一）
- 委任状：エコガイドカフェ（猪澤也寸志）、梶原健次、後藤亜樹、有限会社コーラルクエスト（岡地賢）、グローイングコーラル（上原直）、
- 事務局：沖縄県環境生活部自然保護課（神谷大二郎）
- 運営委員：沖縄県環境科学センター（山川英治）
- 議事録署名人：環境省那覇自然環境事務所（若松佳紀）  
沖縄リーフチェック研究会（安部真理子）

役員22名中、上記10名の出席者（会長、副会長、理事8名、途中参加2名）および5名の委任状により、成立要件である理事の過半数を満たしたので成立、内容を協議し決定した。

【アンダーライン部分が理事会での決定事項】

【「・」は説明事項および提言事項】

### （1）事務局からの報告

#### ①寄付金申込について

- ・民主党サンゴの里海を元気にする議員連盟から¥100,000の寄付の申し入れがあった。
- ・現在、寄付の受け入れについて企画委員会に検討している。
- ・寄付金等細則では「第3条 企画委員会は、寄付の申請を審査し、受け入れについて適当であると認めたものについて、理事会において承認を得る。」となっている。
- ・企画委員長に最終確認することを条件に、理事会において寄付の受け入れが承認された。

### （2）各委員会からの報告

#### ①選挙管理委員会からの報告（代理で事務局から報告）

- ・事務局から第3回選挙の結果について説明され、当選者が報告された（第11回理事会資料参照）。
- ・事務局から当選した理事に連絡したところ、鹿熊理事から辞退したいとの連絡を受けていることが報告された。
- ・選挙の投票の際に、団体への投票と個人への投票は区別した方がよいため、選挙の投票の仕方について今後選挙管理委員会で検討することが提案された。

#### ②助成事業の移植に関わる審査基準

- ・サンゴ移植審査基準（案）V2について移植WGの中ではまだ結論がだされていないが、助成

事業の募集開始期間が近づいてきているため、審査基準の決定を急ぐ必要がある。

- ・ サンゴ移植活動審査基準は以下の内容を訂正し、移植 WG のまとめ役である鹿熊理事に確認することを条件に理事会で承認された。
  - ・ 1. の文言は「移植に用いるサンゴは当該地域の関係法令、規則に基づいて採捕され、由来のはっきりしたものを使っている。」とする。
  - ・ 0 と 8 は一つの項目とする。0 からではなく 1 からとする。「1. サンゴ移植の目的は明確であり、単なる集客目的となっていないこと。」とする。
  - ・ 7 番の「本助成活動」を「活動」とする。
  - ・ 4 番目 e が大文字になっているので、E に訂正する。
- ・ サンゴの移植は様々な方法があるため、どのようなものをサンゴの移植とするのか、どこかで議論したほうがよい。

### (3) 平成 24 年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業

#### ①平成 24 年度助成事業スケジュール

- ・ 助成事業のスケジュールについて事務局から当初予定していたスケジュール通りに進んでいないなどの説明があった（第 11 回理事会資料参照）。
- ・ 平成 24 年度助成事業スケジュールについては、以下のように決定した。
  - 募集開始：6 月中（6 月 20 日を目標に調整を行う）
  - 募集締め切：7 月 22 日（募集開始の日から 1 ヶ月）
  - 審査会：8 月初旬
  - 理事会での承認：8 月中旬
  - 8 月下旬：選定結果発表、事業実施期間は決定の日から 1 年間
- ・ 伝達式は今年も行う予定。先方との調整もあるが、昨年と同じように 10 月頃を予定したい。

#### ②審査会メンバー

- ・ 審査会メンバーについて事務局から候補者が推薦された（第 11 回理事会資料参照）。
- ・ 事務局から推薦された審査会メンバーと理事から推薦があった後藤亜樹理事が承認された。
- ・ 8 名の候補者に対しては事務局より就任の依頼を個別に行う。
- ・ 前回の審査会は 4 人であったため、今回も 4 名以上とする。4 名以上であれば辞退者が出た場合でも補充しないことが確認された。

### (4) その他

#### ①総会での議長の選出

- ・ 総会の議長は、泡瀬干潟を守る連絡会（桑江直哉）と沖縄リーフチェック研究会（安部真理子）が推薦された。

#### ②猪澤也寸志理事からの事業提案について

- ・ 「サンゴ礁保全活動調査事業」事業を協議会で立ち上げてはどうかと提案があった。
- ・ 提案者が理事会欠席のため、提案者と相談しながら企画委員会を中心に進めていくことが提案された。今回の理事会では提案された事業に対して、以下のような意見が出された。
  - ・ 調査をするとなった時、アンケートを送って返すというような一方的な調査方法は好まし

くない。

- ・既存の資料から環境保全活動に関わっている団体のリストをあげて、海岸清掃や赤土対策など、保全活動の内容ごとにカテゴリーを整理し、協議会が良いと思う団体にコンタクトしてみて、ホームページ等のリンクを載せていいか確認する。そのような作業をしていく事で、意識のある団体とネットワークを構築していけると思うので、そのあたりからはじめてもいいと思う。

### ③中野義勝会長からの議案

- ・日本サンゴ礁学会に自由集会枠（運営のサポートはしないが、会場使用料は学会が負担）があるので、沖縄で学会が開催される際（次回は2013年秋）に協議会として交流会をエントリーするように、企画委員会に提案したい。